畜産

初競りも高値傾向続く
コロナ影響を注視

ホクレン十勝地区家畜市場（音更町）で1月に行われた育成牛などの初競りは、高値での取り引きが行われた。一方で、新型コロナウイルスの影響による需要の不透明感も続き、関係者は価格の推移を注視している。

市場の今年の初競りは、1月7日の乳牛の育成牛市場。生後7～12カ月の種付け前の牛を中心に527頭が出品され、成約割合は92・8％。1頭当たりの平均価格は45万2404円で、最高価格が64万2400円、最低価格は1万4300円となった。

育成牛は道内酪農家の規模拡大や都府県の更新需要もあり、30万円程度だった平均価格が2016年ごろから上昇。昨年1月と比べて平均価格は下がったが、規模拡大や今年の育成牛の頭数が昨年より減っていることもあり引き合いは引き続き堅調。懸念するのはコロナの影響で、関係者は「外食が落ち込むと生乳需要にも波及する」と心配する。

1月12～15日には肉牛の初競りが開催。去勢の素牛（もとうし、子牛）の平均価格は前年比11・7％増の86万1580円。成約率は96・6％で、前年同時期より11ポイントほど高かった。

コロナによる外食需要の減少で和牛の価格は一時期落ち込んだが、国が和牛消費拡大に向けてネット販売などを支援。国の政策に加えて家庭での需要も堅調なことから、昨年12月の競りでは平均85万円台と高値に。年明け後の競りもこの傾向が続いた。

ただ本来の外食需要に戻るには時間を要するとみられ、価格に再度影響が及ぶ可能性もある。今後の牛肉需要がどう推移するか、関係者は注視している。



引き続き高値が続いた育成牛の市場



前年同時期を超える平均価格となった黒毛和種（去勢）の競り

闘根種子粉衣タイプ

ネぢからアップ

根っこに活力！

決め手は根っこにあり！ 風にも負けないトウモロコシ作り！

トウモロコシ栽培の敵、倒伏被害を防ぐにはどうすれば良いでしょうか。倒伏に強いトウモロコシの特徴は、「根張りが良い」ことであるとされています（2018 農家の友、出口）。「ネぢからアップ」による根の生育を助けることにより、倒伏軽減が期待できます。





闘根の成分にスノーグローエースの成分を加え、さらにパワーアップさせ、粉末化しました。

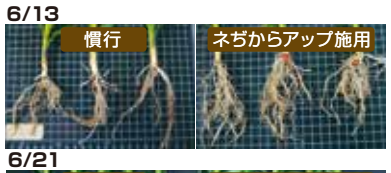
使用基準　乾燥種子重量の0.3%を基準に均一に乾粉衣してお使いください。

特徴　発芽直後の根の生育をサポート、根張りよい丈夫な作物を作ります。　※当社調べ

- 300gでトウモロコシ種子50000粒袋が約7袋（4ha分）使用できます。
- 5月中に播種し、8000本/10a以上栽植しない。
- 春の基肥を施肥標準量施用する。

◆デントコーン（2011、訓子府）

6/13



6/21



処理区	葉面積(㎠)	総根長(m)	根乾物重(mg)
慣行	644.72	64.9	0.47
ネぢからアップ施用	約1.7倍 1086.1	約1.7倍 107.8	約1.9倍 0.88

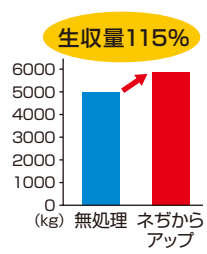
◆2018年 道内6試験地での事例（阿寒2、標茶2、計根別、忠類）



根張りの状態に違いがありました



倒伏・なびきが軽減されました





【収量調査時】

	支根直上稈径(mm)	根張りの長さ(cm)	稈長/根張り幅	生総重kg/10a
北海道平均(6カ所) 無処理	18.9	46.3	5.1	5043
北海道平均(6カ所) ネぢからアップ 0.3	21.3*	52.6†	4.7ns	5839*

注）1対のt検定による、†(10%)、*(5%)で有意差あり
2018年当社調べ（北海道平均6カ所）

雪印種苗株式会社　帯広営業所
〒082-0005　河西郡芽室町東芽室基線13番26
TEL (0155) 62-8181　FAX (0155) 62-8585
https://www.snowseed.co.jp/